



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年10月26日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 スクロール

コード番号 8005 URL <http://www.scroll.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 堀田 守

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 長田 隆利 TEL 053-464-1114

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 平成24年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家及び証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-----|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年3月期第2四半期 | 30,428 | 4.4 | 1,116 | △26.8 | 1,303 | △24.4 | 805 | △19.0 |
| 24年3月期第2四半期 | 29,155 | 3.0 | 1,524 | △2.1 | 1,723 | 2.9 | 993 | 10.5 |

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 681百万円 (△33.3%) 24年3月期第2四半期 1,021百万円 (39.8%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期第2四半期 | 24.34 | — |
| 24年3月期第2四半期 | 30.04 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--|--------|--|--------|
| | 百万円 | | 百万円 | | % |
| 25年3月期第2四半期 | 33,881 | | 23,206 | | 68.5 |
| 24年3月期 | 34,201 | | 22,690 | | 66.3 |

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 23,206百万円 24年3月期 22,690百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期 | — | 5.00 | — | 5.00 | 10.00 |
| 25年3月期 | — | 5.00 | — | — | — |
| 25年3月期 (予想) | — | — | — | 5.00 | 10.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|------|-------|-------|-------|-------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 61,000 | 2.5 | 700 | △67.8 | 1,000 | △60.3 | 600 | 4.1 | 18.13 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | | |
|----------------------|---|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : | 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : | 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : | 有 |
| ④ 修正再表示 | : | 無 |

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、〔添付資料〕4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 25年3月期2Q | 34,320,650株 | 24年3月期 | 34,320,650株 |
| ② 期末自己株式数 | 25年3月期2Q | 1,231,446株 | 24年3月期 | 1,231,121株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 25年3月期2Q | 33,089,377株 | 24年3月期2Q | 33,089,767株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、〔添付資料〕3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社は平成24年10月30日（火）に機関投資家及び証券アナリスト向け説明会を開催する予定です。当日使用する四半期決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 10 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 10 |
| (6) セグメント情報等 | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復興需要等による回復が引き続き期待されているものの、日中関係の悪化による日本経済への影響や欧州の債務問題に対する懸念等を背景とした円の高止まり、新興国の成長鈍化など世界景気の減速を背景として、依然として厳しい景況感のなかで推移しました。

小売業界におきましては、引き続き雇用情勢が厳しく、個人消費が長期にわたり低迷するなど、経営環境は厳しい状況が続いています。

このような情勢下におきまして、当社グループは、前年度に引き続き「成長戦略構築の時代へ」をテーマとした営業戦略体制の構築のため、次の施策に取り組んでおります。

- ① 顧客へのサービスレベルの向上及びインフラコストの削減を目的とした三大事業インフラの構築を行う。
 - i) 東京本店に企画・営業等のフロント機能を集積させ、情報力・マーケティング力・人材力を強化する。
 - ii) 物流効率向上を目的としてロジスティクスセンターの物流インフラを刷新する。
 - iii) 将来のビジネスモデルを支える先進性と時代の変化に対応できる柔軟性を担保し、かつ、システムコストの削減が見込める効率的なシステム基盤を構築する。
- ② 将来の成長性が見込める新事業に対して積極的な投資を行う。
 - i) 化粧品及び健康食品を商材とするEC事業のビジネスモデルを構築する。
 - ii) 拡大するシニアマーケットを対象としたビジネスモデルを確立する。
 - iii) 新しい商材やビジネスモデルの導入に向け積極的なM&Aを行う。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高30,428百万円（前年同四半期比4.4%増）となりました。利益面におきましては、営業利益1,116百万円（同26.8%減）、経常利益1,303百万円（同24.4%減）、四半期純利益805百万円（同19.0%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度まで「通販非アパレル事業」としていた報告セグメントを「通販LF（ライフファッション）事業」及び「通販H&B（ヘルシー&ビューティー）事業」の2区分に変更しております。前年同四半期比は、前第2四半期連結累計期間の数値をセグメント変更後の数値に組替えた上で、比較を行っております。詳細は、「3. 四半期連結財務諸表（6）セグメント情報等」をご参照ください。

なお、セグメント別の売上高は連結相殺消去後、セグメント利益は連結相殺消去前の数値を記載しております。

① 通販アパレル事業

通販アパレル事業におきましては、引き続き「SPA通販」モデルの確立を推進するとともに、スマートフォン対応を中心としたインターネット販売の強化に取り組んでまいりました。また、新たなビジネスモデルとして、シニアマーケットを対象とした事業の立上げに着手しました。生協販売におきましては、売れ行きが好調なベーシック商品の強化やカタログ表現の刷新など、売上の拡大に注力してまいりました。

以上の結果、売上高は12,497百万円（前年同四半期比2.1%増）となり、セグメント利益は688百万円（同33.6%増）となりました。

② 通販インナー事業

通販インナー事業におきましては、インナー、部屋着などの夏向け商材や節電対策商品の拡充をはじめ、新ブランド・新商材の積極的な投入など商品力の強化に努めるとともに、販促面ではインターネットの活用注力し、既存顧客の活性化及び新規顧客の獲得拡大に努めてまいりました。生協販売におきましては、カタログ媒体の発行を強化し、更なる成長を目指してまいりました。

以上の結果、売上高は5,030百万円（同1.3%減）となり、セグメント利益は321百万円（同33.1%減）となりました。

③ 通販LF（ライフファッション）事業

通販LF事業におきましては、有名タレントとのコラボレーション商品の開発や顧客ニーズを取り入れた提案型商品の展開など、家具・インテリア雑貨商材の商品企画力の向上に努めてまいりました。一方、インターネットにおける、アウトレットサイトの立上げにも取り組んでまいりました。また、平成24年5月8日付で、ブランドバッグ・小物等のEC事業を展開する株式会社AXESの全株式を取得し連結子会社とし、事業の強化に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は6,771百万円（同11.1%増）となり、セグメント利益は261百万円（同49.9%減）となりました。

④ 通販H&B（ヘルシー&ビューティー）事業

通販H&B事業におきましては、ナショナルブランド化粧品専門通販サイト『コスメランド』において、オフィシャルサイトでの拡販に努める一方、楽天市場に2号店となる『コスメエッセンス』を新規出店し、楽天市場における売上シェアの拡大に努めてまいりました。また、プライベートブランド化粧品専門通販サイト『豆腐の盛田屋』では、新規顧客の積極的な開拓に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は3,204百万円（同25.4%増）となり、セグメント利益は23百万円（同33.5%減）となりました。

⑤ ソリューション事業

ソリューション事業におきましては、通販事業者に対する、受注代行や物流代行などのフルフィルメント支援、『Xspeecs』を中心としたECシステムの提供、ECコンサルをはじめとした販売促進支援などの事業に取り組んでまいりました。営業面においては、外部提携先と共同でセミナーを開催するなど新規取引先の開拓に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は2,812百万円（同4.1%減）となり、セグメント利益は114百万円（同44.4%減）となりました。

⑥ 金融事業

金融事業におきましては、平成21年6月末をもって個品割賦事業における新たな債権買取りを終了し、現在は保有債権の回収に専念しております。なお、当第2四半期連結累計期間において、金融事業における有利子負債を完済いたしました。

以上の結果、営業収益は111百万円（同53.0%減）となり、セグメント利益は35百万円（同78.6%減）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は33,881百万円となり、前連結会計年度末に比べ319百万円減少しました。これは主に流動資産における売掛金の減少等によるものであります。

負債は10,675百万円となり、前連結会計年度末に比べ835百万円減少しました。これは主に借入金の減少等によるものであります。なお、借入金を完済したことにより、当第2四半期連結会計期間末において、有利子負債の残高がゼロとなりました。

純資産合計は23,206百万円となり、前連結会計年度末に比べ515百万円増加し、自己資本比率は68.5%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、1,548百万円となり、前連結会計年度末に比べ199百万円減少いたしました。当第2四半期連結累計期間における活動ごとのキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは1,739百万円の収入（前年同四半期は1,061百万円の収入）となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益の計上、未払債務の増加によるものであります。一方、主な減少要因は、たな卸資産の増加や法人税等の支払などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、621百万円の支出（前年同四半期は194百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,317百万円の支出（前年同四半期は1,950百万円の支出）となりました。これは主に、借入金の返済、配当金の支払などによるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成24年4月27日に公表しました通期の業績予想を修正いたしました。なお、当該予想数値の修正に関する事項は、本日（平成24年10月26日）公表の業績予想修正資料をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,747 | 1,548 |
| 売掛金 | 12,684 | 11,988 |
| たな卸資産 | 4,093 | 4,707 |
| その他 | 3,066 | 2,880 |
| 貸倒引当金 | △694 | △658 |
| 流動資産合計 | 20,898 | 20,466 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 5,001 | 4,830 |
| 土地 | 4,711 | 4,711 |
| その他（純額） | 808 | 1,211 |
| 有形固定資産合計 | 10,522 | 10,753 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 569 | 537 |
| その他 | 2,283 | 2,140 |
| 貸倒引当金 | △71 | △16 |
| 投資その他の資産合計 | 2,211 | 2,124 |
| 固定資産合計 | 13,303 | 13,414 |
| 資産合計 | 34,201 | 33,881 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 2,481 | 2,098 |
| 短期借入金 | 1,149 | — |
| 未払金 | 4,844 | 6,050 |
| 未払法人税等 | 711 | 481 |
| 引当金 | 322 | 316 |
| その他 | 852 | 704 |
| 流動負債合計 | 10,362 | 9,651 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 476 | 504 |
| その他の引当金 | 297 | 320 |
| その他 | 374 | 198 |
| 固定負債合計 | 1,148 | 1,023 |
| 負債合計 | 11,511 | 10,675 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,812 | 5,812 |
| 資本剰余金 | 7,222 | 7,222 |
| 利益剰余金 | 9,878 | 10,518 |
| 自己株式 | △697 | △697 |
| 株主資本合計 | 22,214 | 22,854 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 408 | 353 |
| 繰延ヘッジ損益 | 65 | △2 |
| 為替換算調整勘定 | 0 | 0 |
| その他の包括利益累計額合計 | 475 | 351 |
| 純資産合計 | 22,690 | 23,206 |
| 負債純資産合計 | 34,201 | 33,881 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 29,155 | 30,428 |
| 売上原価 | 17,574 | 18,331 |
| 売上総利益 | 11,581 | 12,097 |
| 販売費及び一般管理費 | 10,056 | 10,980 |
| 営業利益 | 1,524 | 1,116 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 16 | 14 |
| 受取配当金 | 15 | 18 |
| 不動産賃貸料 | 38 | 36 |
| 為替差益 | 48 | 43 |
| 貸倒引当金戻入額 | 76 | 4 |
| その他 | 41 | 88 |
| 営業外収益合計 | 236 | 205 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 23 | 3 |
| 不動産賃貸費用 | 11 | 8 |
| その他 | 2 | 6 |
| 営業外費用合計 | 38 | 18 |
| 経常利益 | 1,723 | 1,303 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 2 | 37 |
| 特別利益合計 | 2 | 37 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | 3 | 0 |
| 関係会社株式売却損 | — | 17 |
| その他 | 1 | 0 |
| 特別損失合計 | 4 | 19 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,722 | 1,321 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 612 | 561 |
| 法人税等調整額 | 114 | △45 |
| 法人税等合計 | 727 | 516 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 994 | 805 |
| 少数株主利益 | 0 | — |
| 四半期純利益 | 993 | 805 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 994 | 805 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 67 | △54 |
| 繰延ヘッジ損益 | △40 | △68 |
| 為替換算調整勘定 | 0 | △0 |
| その他の包括利益合計 | 26 | △124 |
| 四半期包括利益 | 1,021 | 681 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,021 | 681 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | △0 | — |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日) |
|--------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,722 | 1,321 |
| 減価償却費 | 267 | 261 |
| のれん償却額 | — | 122 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △138 | △91 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | 27 | 28 |
| その他の引当金の増減額 (△は減少) | 11 | 16 |
| 受取利息及び受取配当金 | △32 | △32 |
| 資金原価及び支払利息 | 47 | 9 |
| 関係会社株式売却損益 (△は益) | — | 17 |
| 固定資産除売却損益 (△は益) | △2 | △37 |
| 営業債権の増減額 (△は増加) | 762 | 791 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △383 | △613 |
| その他の流動資産の増減額 (△は増加) | △547 | 24 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △371 | △402 |
| 未払債務の増減額 (△は減少) | 167 | 1,338 |
| その他の流動負債の増減額 (△は減少) | △88 | △127 |
| その他 | △30 | △113 |
| 小計 | 1,410 | 2,513 |
| 利息及び配当金の受取額 | 32 | 31 |
| 利息の支払額 | △40 | △6 |
| 法人税等の支払額 | △376 | △814 |
| 法人税等の還付額 | 34 | 15 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,061 | 1,739 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △103 | △478 |
| 有形固定資産の売却による収入 | — | 65 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △36 | △1 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | — | △108 |
| その他 | △54 | △98 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △194 | △621 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | — | △49 |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,700 | △1,100 |
| 自己株式の取得による支出 | △0 | △0 |
| 配当金の支払額 | △248 | △165 |
| その他 | △1 | △2 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,950 | △1,317 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 0 | △0 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △1,083 | △199 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 5,350 | 1,747 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 4,267 | 1,548 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|---------------------------|------------------|------------------|-----------------|-------------------|-------------------|------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 通販 アパレル 事業 | 通販 インナー 事業 | 通販 L F 事業 | 通販 H & B 事業 | ソリュー ション 事業 | 金融事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 12,238 | 5,097 | 6,093 | 2,556 | 2,932 | 237 | 29,155 | — | 29,155 |
| セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | — | — | — | 0 | 141 | 0 | 142 | △142 | — |
| 計 | 12,238 | 5,097 | 6,093 | 2,556 | 3,074 | 238 | 29,297 | △142 | 29,155 |
| セグメント利益 | 515 | 480 | 522 | 36 | 205 | 164 | 1,924 | △200 | 1,723 |

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去△131百万円及び投資不動産の内部取引利益△69百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|---------------------------|------------------|------------------|-----------------|-------------------|-------------------|------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 通販 アパレル 事業 | 通販 インナー 事業 | 通販 L F 事業 | 通販 H & B 事業 | ソリュー ション 事業 | 金融事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 12,497 | 5,030 | 6,771 | 3,204 | 2,812 | 111 | 30,428 | — | 30,428 |
| セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | — | — | — | 0 | 134 | 0 | 135 | △135 | — |
| 計 | 12,497 | 5,030 | 6,771 | 3,204 | 2,947 | 111 | 30,563 | △135 | 30,428 |
| セグメント利益 | 688 | 321 | 261 | 23 | 114 | 35 | 1,444 | △141 | 1,303 |

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去△82百万円及び投資不動産の内部取引利益△58百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

- (1) 当社グループでは、連結の範囲の変更を伴う関係会社の異動を含む組織変更が生じたため、前連結会計年度では「通販非アパレル事業」としていた報告セグメントを、第1四半期連結会計期間より、「通販LF（ライフファッション）事業」及び「通販H&B（ヘルシー&ビューティー）事業」の2区分に変更いたしました。

なお、前連結会計年度の対応する四半期連結累計期間については、変更後の区分方法により作成した報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報を記載しております。

- (2) 「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）」に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、この変更によるセグメント利益への影響は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。